

科目名称:教育制度論					
担当者名:岡野 大輔					
科目群(区分)	開講予定時期	授業形態	必修・選択	単位数	卒業認定・学位授与の方針との関連
教職	2年後期	講義	自由	2	自由科目につき該当なし(自由科目につき該当なし)
アクティブ・ラーニング実施の有無	実施無し		ナンバリング		16302021
授業概要:日本の教育制度は、日本国憲法及び種々の法令によって組織、運営されている。本講義では、基本的な教育制度を概説し、併せて学校現場における具体的な問題について考察する。とりわけ、平成18年の教育基本法改正以降の教育法制に焦点を当てるとともに、学校経営に必要な学校評価についても考察を行う。					
到達目標:憲法、教育基本法、学校教育法など、教育に関する基本的な法令を学び、併せて教育制度についての基本的事項を習得する。主要な教育裁判を考察し、教育現場における様々な活動の法的根拠を確かめ、教育制度を総合的に理解する。					
授業計画			準備学習とその所要時間(分)		
第1回 公教育の理念と法、憲法			教科書 162～172 ページを読んでくる。(30)		
第2回 我が国の公教育制度及び原理			教科書 63～78 ページを読んでくる。(30)		
第3回 教育・教育制度の基本(1)教育基本法			教科書 103～120 ページを読んでくる。(30)		
第4回 教育・教育制度の基本(2)教育基本法、学校教育法			教科書 79～87 ページを読んでくる。(30)		
第5回 国の教育行政			教科書 88～102 ページを読んでくる。(30)		
第6回 地方の教育行政			教科書 120～136 ページを読んでくる。(30)		
第7回 教育・教育制度の基本(3)学校教育法、学校教育法施行規則、学習指導要領			教科書 214～228 ページを読んでくる。(30)		
第8回 教育・教育制度の基本(4)地方教育行政法、学校管理規則			教科書 229～242 ページを読んでくる。(30)		
第9回 教育制度をめぐる諸課題			教科書 243～271 ページを読んでくる。(30)		
第10回 地域と学校との連携の意義とその経緯			教科書 137～160 ページを読んでくる。(30)		
第11回 地域と学校との協働、連携の方法と現状			前回到配付した資料(私立学校法等)を読んでくる。(30)		
第12回 第三者評価から見た学校の管理・運営			教科書 352～375 ページを読んでくる。(30)		
第13回 学校安全(1)危機管理と事故対応の必要性			前回到配付した資料(学校保健安全法、社会教育法、教育職員免許法等)を読んでくる。(30)		
第14回 学校安全(2)学校をとりまく課題			前回到配付した資料(教育裁判例Ⅰ)を読んでくる。(30)		
第15回 教育制度の課題の実例～教育裁判の考察～			前回到配付した資料(教育裁判例Ⅱ)を読んでくる。(30)		
履修に必要な予備知識や技能:「学習方法演習」などの1年次科目で、社会に関する基礎知識、国語力、学習態度をしっかりと身に付けておくこと。					
課題に対してのフィードバック:授業中に提出した課題シートは点検・添削された後、次回の授業で返却されます。その際、講評します。復習や定期試験前学習の材料としてください。					
評価方法・基準:定期試験 70% 提出課題 20% 受講態度(授業への参加度)等 10%					
教科書:教科書:「やさしい教育法規の読み方(新訂第4版)」菱村幸彦(教育開発研究所) 参考書:「中学校学習指導要領」文部科学省、「高等学校学習指導要領」文部科学省、「中学校学習指導要領解説 社会編」文部科学省、「高等学校学習指導要領解説 公民編、福祉編」文部科学省					
備考:講義計画や教科書、評価方法に変更があるときは、事前に案内する。					
実務経験の内容・期間:なし					